

第10回コーディネーター養成講座

日 時：平成25年6月23日（日）14：00～

場 所：まちの駅 Nanze

出席者：33名（内訳：講師4名、職員4名（県3名）、うちこGT10名、一般15名）

1. あいさつ（うちこGT協会 藤淵利通 会長）

現在、8月に予定している着地型旅行のモニターでは、日頃講座でも大変お世話になっている「内子手しごとの会」の体験が特に大きな役割を果たしています。

今回、会員をはじめ愛媛県農政課ならびに広域連携の一環として他協議会からも一般の方も含め大勢の方にご参加いただき感謝の気持ちで一杯です。

本日は、ぜひ新しい内子の楽しみ方を会員と交流しながら体験していただき、ご感想を賜り今後の活動に反映させていただきたいと思います。

また、会員のみなさんには、いつも米田先生にご指導をいただいた成果が十分に発揮できるよう、お互いが連携してお客様へ内子の魅力について提案できるようにしっかりと取り組んでいただきたい。

2. ワークショップ

あいさつ（講師：内子手しごとの会 山本勝美 会長）

いつも、連携の一環でうちこGT協会の講座に呼んでいただいて私が参加させていただいています。今回は、協会会員の方々だけでなく色々な方が多数参加される中でワークショップをさせていただき感謝しております。

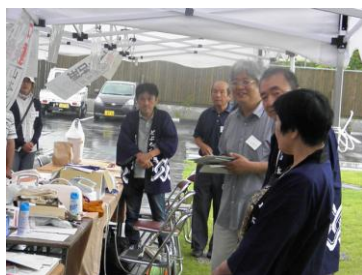
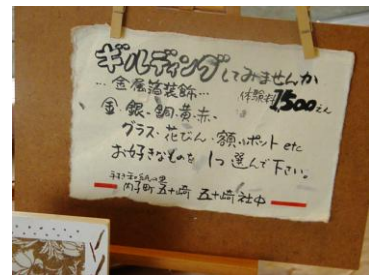
今後も相互連携として、手しごとの作品をGTの宿や施設において展示や体験ができるようになれば更に活発な事業展開が可能になると思います。

今日は、皆さんにゆっくと楽しんでいただけるよう、キットの数は余裕がありますので、よろしく願いいたします。

内容（写真参照）

- ・ミニ行燈づくり（指導：山本勝美さん（山本木工所））
- ・ミニ衝立づくり（指導：山本陽子さん（山本木工所））
- ・手漉き和紙体験キット（指導：成見優子さん（天神産紙））
- ・ギルディング体験（指導：齊藤宏之さん（五十崎社中））

H25.6.23 内子手しごとの会ワークショップ風景



講評（講師：愛媛大学法文学部 総合政策学科 米田 誠司 先生）

講座でみなさんにお話ししていますが、由布院は湯治をしながら健康づくりをする長期滞在型の誘客に取り組んで実績もあげていますが、由布院の全てが絶対的に優れている訳ではありませんし、日本の素晴らしい伝統文化である町並・村並などの景観保存や本日みなさんが体験された「内子手しごとの会」に代表される手仕事のような伝統的な産業の育成など、内子の方が勝る点は沢山あります。

由布院が内子よりも優れている点は、まちづくりを担う中心的人たちのプラットフォームの形成（由布院らしさにこだわり、まち全体が連携することの意義）への意識の差です。

いま内子には、100万人も観光で訪れているのに2万人の宿泊では勿体ない。内子が持っている素晴らしい観光資源やいろんな団体・地域が連携することで更に持続的に発展していくことが可能です。

それでは、今回参加いただいた方々から今後の取組みに活かせるよう、率直なご意見やご感想をいただきましょう。

（参加者の意見・感想発表）

- ・とっても簡単に体験できて自分の施設でも出来るのは勿論だけど、お客様へのサービスやちょっとしたお土産にも使用できる。（GT会員）
- ・あっという間に時間が経って、とても楽しかった、というのが家族や友人（一般参加）共通の感想です。初体験ということもあってかどうか？体験する前と後ではずいぶん違い、体験してみないと分からない感動というか楽しさ？がありました。（県職員）
- ・特にギルディングが面白かった。初めてだったけど、思ったよりもキレイにできて良かったです。また、やってみたいです。（子ども：一般参加）
- ・自分たちで作ってみながら、これを使ってアレが出来るな！とか、こういうモノはどうか？などアイデアが湧いてきた。今日のメニューは専門的な技術に裏打ちされて真似はできないけれど、自分ところの素材を活用して簡単に家族みんなで楽しめるモノをつくりたい。（他協議会：一般参加）